

鹿児島県教育カウンセラー協会代表として

大坪治彦

皆さんこんにちは。この度、鹿児島県教育カウンセラー協会代表を石塚勝郎先生から引き継ぎました大坪治彦です。私自身、教育カウンセラー資格制度誕生の時からお手伝いしていましたが、石塚先生ならびに副会長の福山先生にほとんどすべてお任せし、鹿児島県教育カウンセラー協会にこれまでほとんど貢献してこなかったことを恥じております。今後は代表の任を微力ながら頑張りたいと思っております。

おりしも、昨年の令和4年12月に、生徒指導提要が大改訂されました。この新しい生徒指導提要では、従来少し曖昧な部分があった「生徒指導の定義」を「定義」と「目的」に分けて明確にすることに始まり、「2軸3類4層」という形で、生徒指導を構造的に説明しています。

「即応的継続的（リアクティブ）」と「常態的先行的（プロアクティブ）」の「2軸」、「困難課題対応的」「課題予防的」「発達支持的」の「3類」、「困難課題対応的」「課題早期発見対応」「課題未然防止教育」「発達支持的」の「4層」です。これまでも「積極的生徒指導」を掲げてすべての児童生徒が生徒指導の対象という理念は掲げられていたのですが、今回の改定でその部分が明確に示されました。構成的グループエンカウンターや育てるカウンセリングなど、教育カウンセラーが特に重視してきたものが生徒指導において明確に位置づけられたのです。

不登校やいじめ等において、その事態に即応する（リアクティブ）生徒指導と、全児童生徒を対象に常態的先行的（プロアクティブ）生徒指導が2つの軸であると定義は、今後、学校教育の現場で、常態的先行的（プロアクティブ）生徒指導を重視する教育カウンセラーが果たすべき役割は大きいものがあるはずで、また、役割を大きくすることに私たち教育カウンセラーが力を発揮する必要があります。

鹿児島県の教育カウンセラーの方々が、今まで以上にお力を発揮できるよう、鹿児島県の生徒指導や心理支援、発達支援に本協会が貢献できるよう運営していくことに努めますので、よろしく願いいたします。